

栃木県知事 福 田 富 一 様

新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種に関する緊急要望

現在、各市においては、住民の安心と一日も早い感染収束に向けて、接種を担う医療従事者の確保等に全力で取り組みながら、高齢者への7月末接種の完了と64歳以下の住民接種の準備のため、県の大規模接種会場の設置などのご支援をいただきながら懸命に努力しており、さらに、接種情報も可能な限り迅速に入力するよう取り組んでおります。

このような中、国は今後のワクチン配分について、VRSによる接種率を考慮するような報道がありましたが、個別・集団の接種方法を地域の実情に応じて工夫を凝らしながら接種を進めている自治体にとって、一つの数字が過剰に反映されるような対応に戸惑いを感じております。

また、今後、複数種類のワクチンが混在する可能性があると同っておりますので、企業や大学における職域接種が開始された場合、県民は接種機会の選択が可能となる反面、二重予約など自治体の接種との混乱も懸念されます。

つきましては、今後のワクチン接種が円滑に進むよう、下記事項について要望します。

記

- 1 接種記録については、入力作業の簡素化など医療従事者や自治体の負担が軽減されるVRSの運用改善を国に求めるとともに、ワクチンの配分にあたっては、接種方法などにより入力に遅れが発生した場合においても、地域の実情を考慮したうえ、各自治体の要望に応じた適切な配分となるよう国に求めること。
- 2 複数種類のワクチンを使用する状況にあっても、円滑に接種が行われる方策を早急に検討するよう国に求めるとともに、64歳以下のワクチン配分について、具体的な配分日時や配分量などを早期に提示するよう国に求めること。
- 3 県民全体のワクチン接種を一層推進するため、県営の大規模接種会場を早期に増設するとともに、多様な接種機会を県民に提供できるよう、的確な情報提供を行うこと。

令和3年6月23日

栃木県市長会長 佐 藤 栄 一